

# (第2回) 2019年度 関西のゆめプロジェクト

## 「第2回 関西のゆめプロジェクト発表会」受賞者一覧

最優秀賞	柳川 篤志 氏・若部 有里恵 氏	中央復建コンサルタンツ (株)
優秀賞	金盛 晋也 氏	(株) エイト日本技術開発
優秀賞	中原 佑 氏	近畿地方整備局 福井河川国道事務所
特別賞	寺口 毅 氏	近畿整備局 大和川河川事務所
特別賞	徳本 祐介 氏	東洋技研コンサルタント (株)
特別賞	三宅 達也 氏	(一社) 近畿建設協会
特別賞	倉西 涼太 氏	中央コンサルタンツ (株)
特別賞	伊原 岳宏 氏	近畿整備局 紀南河川国道事務所

## 歩ける街は災害に強い！淀川まちデッキ

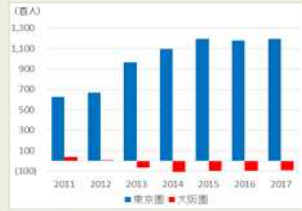
中央復建コンサルタンツ(株) 計画系部門 柳川篤志 若部有里恵

### 近年の状況

#### 激甚化する災害



#### 大阪圏の人口流出



### 提案

#### 淀川に巨大な防災デッキを建設

- ▶ 平常時には芸術・学術活動、街の憩いの場となり、災害時には大規模な防災公園となる。

#### 新大阪、梅田、十三エリアの活性化

- ▶ 都心部に若者を呼び込み、関西で活躍する人材を街全体で育てる。

#### 新大阪、梅田、十三間の空白地を人の交流が活発な地域に



# 次世代モビリティ普及後の新御堂筋の活用提案

エイト日本技術開発 関西支社 都市環境グループ 金盛晋也

まちの未来  
目的地までのすべての過程においてモビリティによる移動が可能になっている。そのため、現在の規模の道路は必要なくなる。

ひとの生活の未来  
インターネットを介して、買い物や仕事でできる。そのため、家までできてしまう。未来が来る。

そんな「あるく」必要のない時代だからこそ、健康のために気持ちよく安全に歩ける空間が必要だと思う。

**新御堂を全区間歩ける空間に！**

歩数と生活習慣病による死亡者数（人口10万人あたり）の相関性

資料：厚生労働省健康局「国民生活・健康調査」及び厚生労働省健康局地域保健課「人口動態統計」より、厚生労働省健康局健康増進部健康政策課「健康づくりの推進」より1%未満で有意差が認められたことを示す。 出典：厚生労働省健康局健康増進部健康政策課

1日あたりの歩数と生活習慣病による死亡者数には相関関係がある。また、道具を用意するスポーツと比べ、手軽に行えるウォーキングは未来でも大流行！

## 大阪人総ウォーキング時代の到来 ～新御堂歩かへん？～

気持ちよく散歩したいのに橋を渡るために遠回り。  
→新御堂を歩くと最短距離で安全に散歩できる！

自動運転モビリティの普及によって不要になった車線に緑道を作り、歩行者達が楽しく歩ける空間ができる。そのうち、沿道のビルと橋がつながり、直接行き来できるようになる！

# リバークルーズによる九頭竜川の賑わい創出について

福井河川国道事務所 工務第一課 中原 佑

### リバークルーズ船イメージ

東尋坊遊覧船

### 三国湊周辺

リバークルーズルート

### 三国湊周辺の現状

### 河川を活用した歴史

北前船の主な寄港地

- 1822年 三国湊(福井県福井市)に寄港(1泊)
- 1844年 三国湊(福井県福井市)に寄港(1泊)

九頭竜川の舟運路

江戸時代に栄えた北前船による舟運

### 九頭竜川流域の風景(下流部)

九頭竜川・日野川合流点付近

### 河川からの風景

河川巡視船より撮影